

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1092	公民館事業経費	01	01	一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			05	05	公民館費
担当部課名	教育委員会 大山田分室			102	公民館活動経費
作成者氏名	山本正彦	連絡先	46-0130	01	公民館事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	提供する講座を受講した市民。	陶芸・舞踊・茶道・絵画・社交ダンス・華道・書道・コーラス・手芸・着付・民謡の歴史や文化の理解が深まり、今後の活動に役立ててもらえる。
本年度事業内容	公民館教室の講座(陶芸・舞踊・茶道・絵画・社交ダンス・華道・書道・コーラス・手芸・着付・民謡)の開催、貸室の受付事務等	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,078	2,316	2,316
事業推進報償	4,078	2,316	2,316
その他			
合計(A+B)	7,678	5,916	5,916
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	7,678	5,916	5,916
上記①～③に関する特記事項	臨時職員		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
公民館教室	教室数	15	15	15			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
公民館教室の開設	公民館教室に参加する人数	人	187 目標 ( )	200	200
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>教養、生活、文化等の趣味・実技的な活動支援事業や地域文化の世代間交流を目的とした教室を実施して、新たな人材育成を目指している。</p>
--

評価	必要性	4	総合評価
	有効性	3	
	達成度	3	
	効率性	3	
特色ある教室を目指し、気軽に参加できる教室が今後も求められる。			A